

VII. 取付け完了後の検査

- 取付け完了後は接続部やホースにガス漏れ検知液を塗布して、ガス漏れがないか検査してください。
- 施行完了後は、ガス可とう管接続工事の表示ラベルに必要事項を記入し、TAMA FLEXにリング状に貼付して下さい。

確認	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れ検査で漏れ検知液を塗布した後は、錆等の発生を防止する為、良く水洗いし、拭き取ってください。 ●接続金具部及びホース本体を触手により、ホースが振動しないことを確認してください。
----	---

VIII. 取付け後、消費者への説明事項

- 本品は(財)日本ガス機器検査協会による自主検査合格品であり、安心してお使いいただけますが、更にホースに貼付けてある「警告」ラベルをよく読み、正しくお使いいただくように説明してください。
- 自主検査合格品には、定められた安全基準を満たしていることを示す「検査認証表示」が貼付されています。



検査認証表示

- 取付け後、燃焼器具を動かしたり、「ホース」を折り曲げたり、ねじったり、取外したりしないように説明してください。
- 引越しの場合、取付け、取外しは、必ず地区の都市ガス会社に依頼して行うよう説明してください。
- 一度取外したホースは、他の燃焼器具に再使用したり、同一燃焼器具でも場所を移動しての再取付けは行わないように説明してください。
- 使用中異常が見られたらすぐに使用を止め、取付業者、販売店、都市ガス会社またはメーカーへ連絡するように説明してください。

※次のような原因により「ガス漏れ」及び「事故」になった場合は、保証の対象になりませんので、ご注意ください。

◎取付け説明書に記載されている注意事項が守られず、誤った使いかたをされた場合。

◎風水害・地震などの天災により商品の不具合が生じた場合。

◎この「TAMA FLEX」について、お気づきの点、ご不明な点などございましたら、販売業者、または三菱伸銅まで、ご連絡ください。

販売店

販売元 三菱伸銅株式会社

本社 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル6F
☎(03)6629-5864 (フレキ)

製造元 株式会社玉川製作所

工場 福島県会津若松市扇町128-1
☎(0242)24-3166

初版 9509
改訂 0407
改訂 0608
改訂 1608

- このたびは、当社の金属可とう管「TAMA FLEX」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- この説明書を必ずお読みにになり、内容を良くご理解の上正しい工事を行ってください。
- この取付説明書では安全に係わる注意事項を、その危険の大きさの程度に応じて、次のように定義して記載しています。
△警告:その危険を回避できなかった場合に、死亡または重傷を負う可能性のあるもの
△注意:その危険を回避できなかった場合に、軽傷を負う可能性のあるもの、および他の財物への損害の可能性のあるもの



(都市ガス用金属可とう管)

TAMA FLEX取付け説明書

※工事施工業者の皆様へ

品番	屋内用→TMH4・TMH6	屋内専用です。
	屋内外兼用→TMH4C・TMH6C	保護カバー付きで屋外用です。屋内での使用も可能です。

△警告

◎金属可とう管の取付け工事は、必ずガス可とう管接続工事監督者の監督のもとで行ってください。無資格者のみで行った場合、不備によるガス漏れや火災を引き起こす恐れがあります。

I. 使用目的

本「TAMA FLEX」(以下「ホース」という)は、都市ガス用の固定式燃焼器具の接続管です。移動式または振動のある燃焼器具には絶対に使用しないでください。

II. 取付け対象燃焼器具

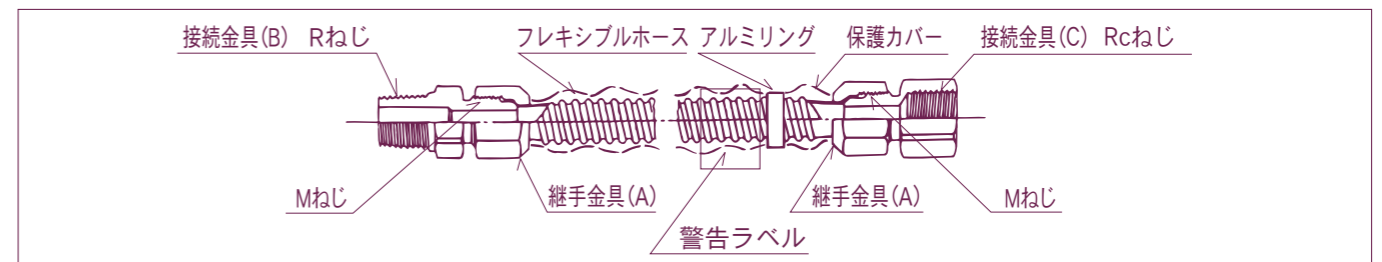
△警告

- 本ホースは都市ガス用燃焼器具専用です。LPガス用燃焼器具には使用できません。
- 本ホースは次の固定式燃焼器具にのみ取付けてください。

固定式燃焼器具の種類		△注意
先止式ガス瞬間湯沸器	常設型暖房機器	
ガス貯湯湯沸器	業務用厨房器具	
元止式ガス瞬間湯沸器	キャビネット型ガスコンロ	
ガス常圧貯湯湯沸器	グリル	
屋内屋外設置型給湯器	その他固定式燃焼器具類	
屋外式風呂釜		

III. 寸法および各部の名称

用途	品番	呼び径	接続部寸法	長さ								L (mm)		
屋内専用型	TMH4	1/2B	R・Rc 1/2	200	250	300	350	400	450	500	600	650		
	TMH6	3/4B	R・Rc 3/4	—	250	300	350	400	450	500	600	650		
屋内外兼用型 (保護カバー付)	TMH4C	1/2B	R・Rc 1/2	—	250	300	350	400	450	500	—	—		
	TMH6C	3/4B	R・Rc 3/4	—	250	300	—	400	—	500	—	—		



IV. 取付け場所の選定

取付け場所に合わせて屋内専用型か屋内外兼用型を用い、更に下記の場所を選定して取付けてください。

△注意

- 振動や衝撃を受ける場所には使用しないでください。ホースが破損し「ガス漏れ」の危険があります。

△注意

- ガスの炎や輻射熱が直接当たる場所には使用しないでください。ホースが溶融し破損するおそれがあります。

△注意

- 薬品・洗剤・排水等が常時かかる場所には使用しないでください。ホースが腐食し破損するおそれがあります。



△ 注意	●他の配管や電気配線に直接触れる場所には使用しないでください。ホースが腐食し破損するおそれがあります。																		
△ 注意	●壁の中を通すような点検できない場所には使用しないでください。ホースの劣化を見逃がすことになり、危険です。																		
△ 注意	●ホースの曲げ半径が規定値以下になる場所には使用しないでください。ホースに常時応力がかかり、亀裂が入り破損するおそれがあります。																		
	曲げ半径規定値(許容最小曲げ半径)																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">品番</th> <th style="width: 10%;">呼び径</th> <th style="width: 15%;">最小曲げ半径(mm)</th> <th style="width: 65%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TMH4</td> <td>1 / 2 B</td> <td>28</td> <td rowspan="2">フレキシブルホースの内での規定</td> </tr> <tr> <td>TMH6</td> <td>3 / 4 B</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>TMH4C</td> <td>1 / 2 B</td> <td>22</td> <td rowspan="2">保護カバーの内での規定</td> </tr> <tr> <td>TMH6C</td> <td>3 / 4 B</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	品番	呼び径	最小曲げ半径(mm)	備考	TMH4	1 / 2 B	28	フレキシブルホースの内での規定	TMH6	3 / 4 B	40	TMH4C	1 / 2 B	22	保護カバーの内での規定	TMH6C	3 / 4 B	35
	品番	呼び径	最小曲げ半径(mm)	備考															
	TMH4	1 / 2 B	28	フレキシブルホースの内での規定															
TMH6	3 / 4 B	40																	
TMH4C	1 / 2 B	22	保護カバーの内での規定																
TMH6C	3 / 4 B	35																	

V. 取付け準備

- 取付け前にガス栓及び器具側の接続部ねじ寸法を確認して、それに適合したタイプの「ホース」を選んでください。
- 1次配管(ガス栓等)と燃焼器具側受け口が固定されていることを確認してください。

△ 注意	●1次配管側のガス栓と燃焼器具側が固定されていないと、ホースに大きな力や、振動が加わり、ホースが破損し「ガス漏れ」の危険があります。
-------------	--

- ガス栓と器具側接続部の間隔を測定して、その長さより10mm以上長めの「ホース」を選んでください。

△ 注意	●短いホースを引き伸ばして接続した場合、ホースに常時引張応力がかかり、応力腐蝕割れが生じて「ガス漏れ」の原因になり危険です。
-------------	--

- 参考 文中の応力腐蝕割れとは、材料が引張りまたは圧縮応力を加えられた状態で腐食性雰囲気さらされることにより起こる現象で、通常起こり得ないほど激しい割れを生ずることがあります。
- ホースは2本以上継いで使用するようなことはせず、初めからガス栓と燃焼器具の間隔に正しく合った長さのものを使用してください。圧力損失が大きくなり流量確保が困難になります。
- ホースに貼付けてある「警告」ラベルに「工事事業者名」「施工者名&施工日」「連絡先電話番号」を記入してください。
- ホースは取付け時以外は故意に曲げないでください。

△ 注意	●曲げを繰り返すと、ホースが割れて、「ガス漏れ」の原因になり危険です。
-------------	-------------------------------------

VI. 取付け手順

- 取付け手順はガス栓側と器具側の両方を平行して説明していますが、実際の取付けに当たっては、ガス栓側又は器具側のどちらか一方を先に取付け、取付けを終わってから更にもう一方の側を取付けてください。

1. 「ホース」に装着されている接続金具(B)または(C)を継手金具(A)から取外してください。(図1参照)

△ 注意

- 接続金具の「シート面」に傷が付くと、「ガス漏れ」の原因になりますので、接続金具(B)および(C)を取外した後は「シート面」に傷を付けないように注意してください。(下図参照)

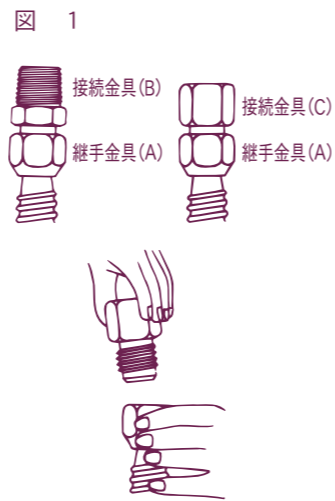
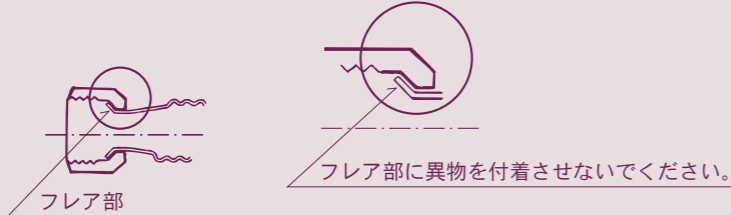


図 1

△ 注意

- 接続金具(B)・(C)のシート面や、継手金具(A)内にある「ホースのフレア部」に異物が付着すると、「ガス漏れ」の原因になりますので、異物を付着させないでください。



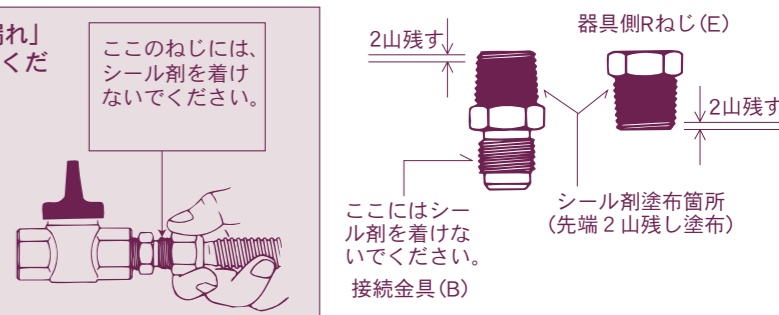
2. 接続金具は、必ず当社組み込み品を使用してください。

△ 注意	●当社で組み込んだ純正品以外の金具を使用すると、接続部分の構造が異なり「ガス漏れ」の原因になりますので使用しないでください。
-------------	--

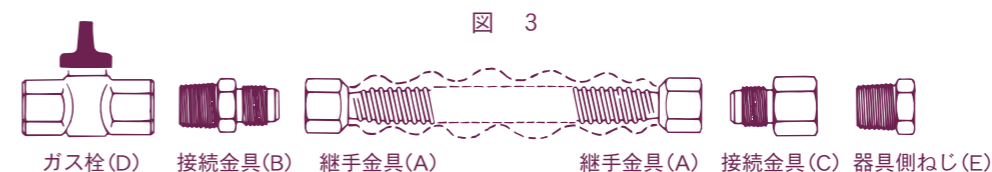
3. 接続する「ねじ部」のゴミなどの異物を除去し、器具側の接続部(E)、または接続金具(B)のRねじ先端を2山残して、ねじの全面に耐ガス性不乾性シール剤を塗布してください。(図2参照)

△ 注意

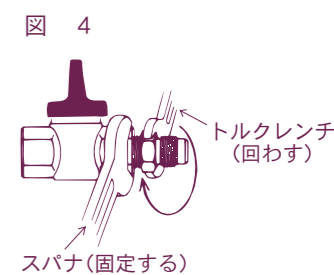
- Mねじ部分には、シール剤を着けると、「ガス漏れ」の原因になりますので、シール剤を着けないでください。(右図及び図2参照)



4. ガス栓(D)のRcねじに接続金具(B)のRねじを、また器具側(E)のRねじに接続金具(C)のRcねじを手でねじ込んでください。(図3参照)



5. 接続金具のねじを手で締め込み、締まらなくなったらガス栓(D)または器具側(E)の六角面にスパナを掛けて固定しながら接続金具(B)または接続金具(C)にトルクレンチを掛けて規定のトルクで締め込んでください。(図4参照)

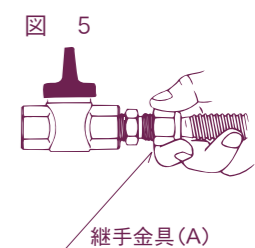


- 規定値を超える過大なトルクで締め過ぎると、ガス栓や接続金具が破損するおそれがあります。

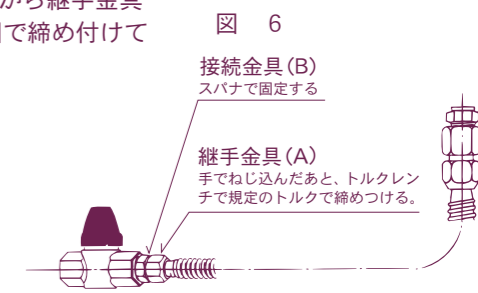
締め込みトルク規定値

品番	呼び径	締め込みトルク
TMH4	1 / 2 B	29.4~39.2N・m(300~400kg・cm)
TMH6	3 / 4 B	45.1~66.7N・m(460~680kg・cm)
TMH4C	1 / 2 B	29.4~39.2N・m(300~400kg・cm)
TMH6C	3 / 4 B	45.1~66.7N・m(460~680kg・cm)

6. 接続金具(B)・(C)の締め付けが終わったら、継手金具(A)を手でねじ込んでください。(図5参照)
7. 手で締まらなくなったら、接続金具(B)または(C)にスパナを掛けて固定しながら継手金具(A)をトルクレンチで「手順5」に示した規定値に従って、適正トルクの範囲で締め付けてください。(図6参照)



- △ 注意**
- 継手金具を「手順5」に示した規定値を超える過大なトルクで締め過ぎると、「ホース」がねじれたまま固定され、引張応力がかかって応力腐蝕割れが生じて「ガス漏れ」の原因になり危険です。
 - 締め付けは、必ず継手金具側で行ってください。接続金具側で締め付けると「ホース」がねじれ、ホースに常時引張応力がかかり応力腐蝕割れが生じて「ガス漏れ」の原因になり危険です。

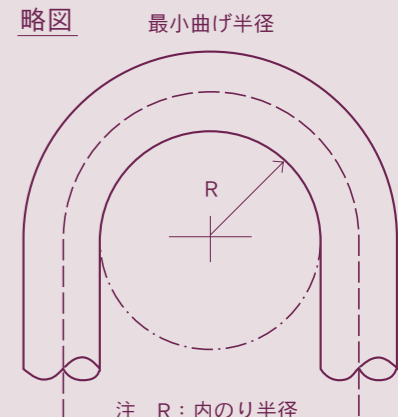


8. 器具側、またはガス栓側の接続が終了したら、次の注意事項を必ずお読みになり、内容をよくご理解の上他端の接続を「手順1~7」を繰り返して、取付けてください。

△ 注意

- 「ホース」は最小曲げ半径規定値以下では取付けしないでください。無理に曲げ、規定値以下にして取付けると応力腐蝕割れが生じ、「ガス漏れ」の原因になり危険です。(右略図参照)
- 「ホース」は、伸ばしたり、縮めたり、ねじったりして取付けしないでください。そのような取付けをすると応力腐蝕割れが生じ、「ガス漏れ」の原因になり危険です。
- 「ホース」は、電線や給水用フレキ管・排水用フレキ管などに接触させないでください。接触したままの状態を取付けると、ホースに穴が生じ、「ガス漏れ」の原因になり危険です。

略図



注 R: 内りの半径